

長野県図書館協会

デジタル版 小中学校図書館部会だより

第149号 (29年度)

平成29年度小中学校図書館部会の活動を振り返って

長野県図書館協会 小中学校図書館部会
副部会長 小川村立小川中学校 松下 寿

本年度の長野県図書館協会小中学校部会のテーマは、「豊かな学びを支える学校図書館 ―司書教諭と学校司書との連携による読書・学習・情報センター―」でした。本年度も県大会をはじめ各地区大会で実践発表や講演会などが実施され、参加者の研修を深めながら大きな成果を得ることができました。

部会では、司書教諭委員会、学校司書委員会、推薦課題図書選定、読書感想文・感想画コンクール、出版物利用促進、部会だよりの各部において活動してまいりました。今年も県下各校より読書感想文・感想画が寄せられました。各支部の取り組みならびにご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。

11月10日(金)・11日(土)には第67回長野県図書館大会 第29回北信越地区学校図書館研究大会が長野市で開催されました。10日開催の公開授業・実践発表・研究協議は長野市立湯谷小学校、長野市立豊野中学校、県立長野図書館(高校図書館部会)を会場に行われました。翌11日は講演会等のメイン会場をホクト文化ホールとし、県立長野図書館、信州大学工学部講義棟において各分科会が開催されました。県外参加者を加え総数925名の参加を得ました。午前中の分科会では、公共図書館部会、高等学校図書館部会、大学・専門図書館部会、開催地企画等が主催した12の分科会のうち小中学校部会では5つの分科会を準備・運営いたしました。県内外の実践から学び合い、参会者から、「視野を広げられた」、「今後の活動の励みにしたい」などの感想をいただき、有意義な会になりました。

午後の講演会では、早稲田大学公共経営大学院教授・元鳥取県知事の片山善博氏に「大切な図書館を充実させるには一地方自治から図書館を考える」と題して、「知の地域づくり」のためには図書館が知の拠点の役割を担う必要があることをお話いただきました。引き続いて「地方自治と図書館」のテーマのもと行われた阿部守一長野県知事との対談では、「学びの県づくり」のために図書館の存在が非常に重要であることを伺いました。

また、各地区の学校図書館教育研究大会は、中信地区が大北支部の小谷村立小谷小・中学校、南信地区が諏訪支部の原村立原小・中学校、東信地区が上小支部の上田市立北小・第三中学校をそれぞれ会場に行われ充実した研修の場となったことが報告されました。

最後になりましたが、本年度の長野県図書館協会小中学校部会の活動にご協力いただきました皆様にお礼を申し上げますとともに、平成30年度第68回長野県図書館大会(上伊那大会)へのご協力をお願いいたしまして活動報告といたします。

支部だより

須高支部

須高支部代表 須坂市立井上小学校 宮坂 ゆかり

須高支部は、須坂市、小布施町、高山村の小学校 13 校(併設校 1 校)、中学校 6 校の、計 19 校により構成されています。三市町村の公立図書館・図書室や図書館関係諸団体と連携して、以下の活動を進めて参りました。

1 活動内容

(1) 研修会

① 講話

- 期日 6月6日(火) 市立須坂図書館西館
- 講師: 文平玲子 市立須坂図書館長

② 合同研修会

- 期日 8月1日(火) 中央公民館
- 講師: サイエンスコミュニケーター 井出 正道先生
- 「微生物ってなあに？」

③ 合同研修会

- 期日 2月27日(火) 市立須坂図書館西館
- 内容: 29 年度実施 購入本について情報交換 30 年度に向けて購入計画情報交換

(2) 第 67 回長野県図書館大会(長野市)・第 29 回北信越地区学校図書館大会への参加

- 11月11日(土)
- レポート発表者 分科会8 井上小学校 小林 裕美教諭
分科会9 墨坂中学校 北原 大介教諭

(3) 第 40 回長野県読書感想文コンクールへの募集と支部審査

- 須高支部審査 9月12日(火) 市立須坂図書館西館
- 応募総数 361編(小学校226編 中学校135編)H28 年度応募数716編より半減

2 活動を振り返って

- 読書感想文の応募数が半減した。小学校中学年が顕著であった。各校への取り組みへの呼びかけを充実させたい。
- 須高図書館協会のご協力により、外部講師をお招きした合同研修会を実施している。文系に偏りがちな選書の目を、理系にも向けるよい機会になった。

佐久支部

佐久支部代表 小諸市立東小学校 横澤 泰志

佐久支部では小学校37校と中学校17校（内私立1校）で構成されている。

管内の図書館施設（川上村、南牧村、小海町、南相木村、北相木村、佐久穂町、佐久市、軽井沢町、御代田町、小諸市、立科町）と連携して以下の活動を進めてきた。

1 活動内容

(1) 長野県図書館協会佐久支部理事会・会計監査

○期日・場所 6月19日（月） 佐久教育会館

(2) 佐久支部総会

①期日 7月4日（火） 参加者45名

②会場 エデュカル・トリア佐久教育会館 大会議室

③内容 総会 平成28年度事業報告
平成29年度決算報告及び監査報告、承認
平成29年度事業計画及び予算の検討、承認

④講演会 講師 長野県諏訪清陵高等学校 学校司書 清水 満里子 さん
演題 「つながる図書館」

(3) 佐久教育会主催 夏期研修講座

①日時 7月28日（金）

②会場 小諸市文化交流センター

③講師 越高令子さん（松本市ちいさいおうち書店）

④内容 外国語に生かせる本とは

(4) 長野県図書館協会専門研修 図書館職員等ステップアップ専門研修開催

①日時 8月7日（月） 13:00～16:30

②場所 小諸市市民交流センター「ステラホール」

③講師 塩谷京子さん（放送大学、関西大学、昭和女子大学）

(5) 第67回長野県図書館大会・第29回北信越地区学校図書館研究大会（長野市）への参加

①期日・参加者 11月10日（金）・11日（土） 参加者18名

②レポート発表 小諸東中学校 学校司書 土屋たまみ さん

(6) 東信地区図書館教育研究大会（上小支部担当）への参加

①期日・参加者 11月17日（金） 15名

②会場 上田市立北小学校・上田市立第三中学校

③内容 公開授業 北小 2年3組 特別活動 三中 1年2組 社会

④講演会 講師 児童文学者 和田 登 さん

演題 「だから物語はステキで面白い」

(7) 第40回長野県読書感想文コンクールへの募集と参加

①佐久支部審査会 10月2日 佐久教育会館にて

②地区審査 応募総数 小学校29校192編 中学校9校80編

③県送付代表作品 小学校37編 中学校7編

2 活動を振り返って

①管内図書館関係団体、関係者や小中学校の司書教諭、学校司書の方の協力を得て、多くの研修の機会を設けることができた。

②読書感想文コンクールでは、年々応募学校、応募点数が増えているが、規定に合わないものもあり、各校での指導が必要である。

図書館職員等ステップアップ研修 参加報告

ステップアップ研修に参加して

長野市立徳間小学校 小林 奈美枝

「図書館を使った調べる学習(3)」に参加して初めて豊科図書館に伺いました。休館日にもかかわらず館内の見学もさせていただきました。そこで、袖ヶ浦市立昭和小学校の鵜田道雄校長先生から前半は、「思考力・判断力・表現力を育て調べる学習の推進」と題して、平成3年からの学校図書館作りについて、後半は、「調べる学習の推進」を昭和小学校の取り組みからお話いただきました。前半のお話の流通システムの導入や情報機器の整備、「調べる学習コンクール」の開催などから、教育の行政と現場が繋がることの良さに驚かされました。後半の「調べ学習」では、一番苦勞する課題の設定と見通しについて様々な方法があることを紹介して頂きました。活動の中でいつも発生してしまう「困ったさん」達を助ける術があることに驚きました。「調べる」ことは教科学習の中では技能の一つですが、漢字や計算の技能よりそれ自身が楽しい実験や実習に近いと思います。技を磨いて学習に役立たせたいと思います。何回も「調べる」学習にチャレンジするためには、課題の設定から発表までを繰り返し学習し、友だちからもたくさんのお話を学ぶということがよく分かりました。また、教える側は、子ども達が学ぶ方法をたくさん用意して選ぶことができる環境作りが大切だということも学ぶことができました。

図書館は、本を読むだけではもったいない。もっと学習に使える。一生使える「調べる」技術を身につける場にできると思いました。

図書館協会 ステップアップ研修に参加して

千曲市立東小学校 畑山 裕子

長野市立篠ノ井西小学校PCルームの会場「パスファインダー作成・活用講習会」に参加しました。学校図書館を調べ学習でよりよく活用するためのひとつの手がかり、道筋になるものです。自分自身の勉強にもなりました。学校の図書館見学もさせていただき、参考になっています。ありがとうございました。

当日は、「学校図書館・しらべ案内(愛称 探求ナビ)」と題して、松本大学非常勤講師の篠原由美子氏と元小諸市学校司書の望月美恵子氏、サポーターとしてアネックスインフォメーションの甲田徹氏が講師をされ、実際に画面を見ながら説明を受け、操作・作成の実習を行い、休憩をはさんでグループワークを体験しました。グループワークは3～4人ひと組、立場の違う者同士で話をすることができました。様々な意見を聞き、相談ができたことがとてもよかったです。

パスファインダーは、Web上で今後公開される計画があり、限られた予算の中でできるところまで作業を行っていくそうです。

調べ学習のために、資料の収集、適切な情報の提供、自ら調べる子ども達に寄り添った姿勢、調べる過程を大切に、場にあつたでしゃばりすぎないアドバイスができればいいと思っています。普段は勉強不足を痛感して、うまくいかないこともしょっちゅうです。課題や問題点は多々ありますが、研修で学び、経験を重ね、ステップアップを図っています。実際のこれからの活動に役立てたいと思います。

読書感想文コンクール及び読書感想画コンクールの審査結果から

長野市立浅川小学校 宮尾 弘子

平成29年度、第40回長野県読書感想文コンクールについて報告します。各学校から応募された作品について各支部審査・県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数：346校	◇応募作品数：5047編
◇県入選（県応募）作品数：636編	◇県入賞作品数：237編
◇中央審査会応募作品数：8編	※小・中合計数で表示

応募校数は昨年度と比べ、若干減りました。応募作品総数は昨年度に比べ、大幅に増加しました。5000編台は平成26年及び24年に遡ることになります。例年にまして各支部で呼びかけくださり、各校で取り組んでくださったことに感謝致します。また多くの感想文を精読し、多くの時間を費やして厳正に審査いただいた支部・県審査委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

県審査員の先生方からは「字数制限に合わない等の理由で入賞できなかった作品が幾編かあった。非常にもったいないと感じた。」というご指摘がありました。これは毎年出される課題です。各校では、ご指導の際に字数にご配慮いただくこと、原稿用紙の書き方をご指導いただきますようお願いいたします。

一方で「その年齢に相応した子どもらしい素直な表現に感銘を受けた。」「単なるあらすじの羅列ではなく、本人の熱い思いが伝わってくる感想文に心を打たれた。」「本を読む1人の読者として、また、同じ本を読んだ子どもたちが感じたことを読ませていただいたことで、その本にいろいろな角度から関わることができたと思う。」等の貴重なご意見もいただきました。長年挙げられております課題を改善すべく、皆様のご意見を承りながら、尽力してまいりたいと思います。今後も子どもたちにより広く深く読書を薦め、意欲的な感想文の応募を賜りますようお願いいたします。

また、平成29年度の読書感想画コンクールについては、各学校から応募された作品について県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数：24校	◇応募作品数：215点
◇中央コンクール応募作品数：10点	※小・中合計数で表示

本年度応募校は昨年度より2校少ない24校、応募作品数は昨年度より100編ほど少ない215編となりました。しかしながら、担任、顧問の先生のご指導により、数多くの力作が寄せられました。表現方法が多彩で、版画も数多く、紙等を貼り付けるなど、子どもたちの想像力が存分に生かされた個性的な作品がたくさん見られました。

本コンクールに応募してくださった児童生徒の皆さん、応募に際してご尽力いただいた先生方に感謝申し上げます。

子どもたちにとって、読書がより楽しくなり、豊かになるような両コンクールでありたいと願っております。来年度もよろしくようお願いいたします。

長野県図書館協会 小中学校図書館部会だより 第149号

発行日 平成30年2月23日

発行者 長野市若里1-1-4 県立長野図書館内

長野県図書館協会 小中学校図書館部会（代表 和田 敦）